



# 新たな取り組みにチャレンジしています

フードバレーとかわち



## 前田 茂雄

中川郡本別町  
前田農産食品合資会社  
小麦、甜菜、豆類を生産する本別町の畑作農家。自社ブランドの小麦粉の販売、自社の小麦畑を活用したミステリーサークル制作など、「地元の人達が畑や農業を感じる」新しい試みに積極的に取り組んでいます。

## 十勝発の美味しいポップコーンを作ります!!

■量ではなく「質」を目指します!

「質」のある輪作体系を目指します!日本農業がとるべき道は量ではなく「質」。付加価値ある輪作体系にポップコーンを導入します。

■ポップコーンを商品化します!

ポップコーンの商品化を進め、選別・包装作業による新たな雇用を創出します。

■十勝でしかできない、十勝らしいイベントを開催し、食や農業を発信します!

「十勝本別ポップコーン3万坪迷路大復活祭、弾けろ、笑顔とポップコーン畑! ここ十勝ほんべつで!!」を開催し、食や農業を発信することで地域に貢献します。

## いまの課題は?

■新しい輪作体系の模索をしています。そこで平成25年より原料ポップコーンの栽培および収穫を開始しました。

■ポップコーンは倒伏しやすいため、安定した生産を実現しなければなりません。

■安全・安心の面から国産ポップコーンへの需要はあると考え、電子レンジポップコーンに期待を寄せています。

平成25年度反省点  
前田農産での倒伏度は9割近く。さらにアメリカ産と比べても黄色みが薄く、表皮断面に細かい傷が入ってしまいました。



アメリカの農場

前田農産

## チャレンジ実現に向けた研究内容は?

アメリカ合衆国を訪問し、コーン農家をはじめ、メーカー、育種畑など、ポップコーンづくりを肌で体感してきました!

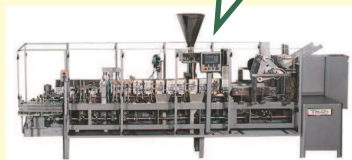
ポップコーンのラインメーカー、袋メーカーを訪問し、アメリカのポップコーン製造の現場を見てきました。



収穫から、乾燥、調整、袋詰めまでのすべてを行うゲイロンさん。ポップコーンの栽培・販売のノウハウを教わりました。



ネブラスカ州の育種畑に行ってきました。色や形も様々、600種もの種類が育種されています。



ポップコーンの父と暮っている、ゲイロンさんとのツーショット。コンバイン、カート、トラックの3人体制で、700haの畑をすべて収穫します。コンバインの調整、ロス率、作業手順、コーンの色、艶、水分や硬さなどを肌で感じることができました。



コーンパレスは、外観、内装をコーンシェルでデコレートした多目的ホール。アメリカのコーンの歴史について学びました。

フードバレーとかわち推進協議会の支援(十勝人チャレンジ支援事業)を活用して、以下のテーマで調査研究を行いました。

【テーマ】 畑から♪弾ける楽しさポップコーン! 電子レンジで簡単!北海道ポップコーンの生産・加工・販売・マーケット創造の旅

### 十勝人チャレンジ支援事業とは?

新たな取り組みにチャレンジする人を支える事業。単なる視察旅行ではなく、自身の経営課題を再認識し、その課題解決のために何が必要か調査研究を行い、実践していくものです。